

## 資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [経営対策活動](#) | [賃金とは](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[組織活動](#)[組織運営と法律](#)[労働安全衛生](#)[経営対策活動](#)[教育・宣伝活動](#)[労働時間をめぐる諸問題](#)[教育活動](#)[選挙活動](#)[組合組織（公務員）](#)[教育カリキュラム](#)[🔍 キーワード検索はこちら](#)

### 賃金とは

## 賃金 もっとも重要な労働条件

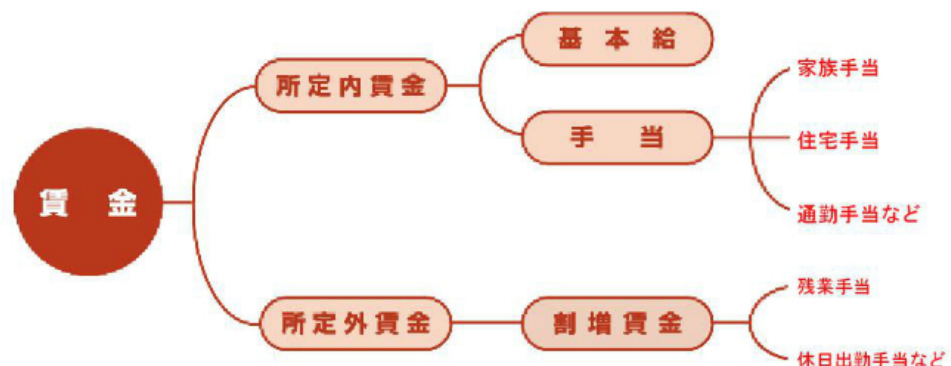
私たちは、働いて得た賃金を自分や家族の生活費にあてています。生活費は、生きていくために必要な衣・食・住をまかなうための経費であり、また、知識を蓄えたり、技能を磨いたり、余暇を楽しんだりするための費用でもあります。

労働者にとって、会社の都合で賃金が支払われなかったり、突然減額されたりしたら、最低限の生活すら維持することができなくなるおそれがあります。また、元気で働くためのエネルギーも沸いてこなくなってしまうのです。

## 賃金の構造

賃金は、一般的に、所定内賃金※と所定外賃金によって構成されています。

\* 所定内賃金（基準内賃金）＝決められた所定内の時間を勤務すれば、受けとることができる賃金のこと。



## 賃金は労使交渉を通じて決定されます

賃金は、経済環境や企業業績による制約を受けながらも、最終的には、経営者と労働組合との交渉と闘争を通じて決定されます。

好景気のときには、どこの会社も人手を確保するために初任給をどんどん上げました。しかし、景気が悪くなると、会社は新入社員の採用を控えるようになり、初任給も据え置かれてしまいます。モノの値段と同じように、労働力も、買い手が（経営者）が多ければ賃金は高くなり、売り手（労働者）が多ければ賃金は低くなる傾向があるのです。

一方で、私たち労働者にとっては賃金は高ければ高いほどよいのですが、経営者にとっては「人件費」というコストですから、できるだけ低く抑えたい、ということになり、これが労使の対立をつくります。労働組合は、組合員と家族の生活の維持向上をめざして賃金の引き上げ（賃上げ）を経営者に求めます。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

**Worker's Library 会員登録**  
お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

**Worker's Library** 静岡で働く人のための資料閲覧サイト  
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.